

## 落語で爆笑 笑いの渦に包まれる

11月18日、宮之城文化センターで「爆笑落語四人会2021」が行われました。文化庁と公益社団法人落語芸術協会の主催で、昔々亭慎太郎さん、桂米福さん、桂小文治さん、三笑亭可龍さんが出演。順に「てんしき転失気」「時そば」「湯屋番」「てんぐ天狗裁き」を披露しました。本格的な落語を生で聴いた市囃庄一さんは「演じる落語家によって演目に個性が出るのがおもしろいです」と話しました。



臨場感たっぷりに「時そば」を演じる桂米福さん

## 園児がイモ掘りを楽しむ

11月13日、薩摩中央高校の農場で町内の園児を招待したイモ掘り体験が行われました。宮之城ロータリークラブと同校が主催し、5月に植えた紅はるかなどのサツマイモを収穫。園児は、生徒と協力して掘ったり、採れたイモを友達に見せ合ったりしていました。3年の中間北斗さんは「子どもたちが楽しそうに掘っているのを見るとうれしくなります」と笑顔で話しました。



大きいサツマイモが見つかるかな？

## 菊野秋信さん 瑞宝双光章を受章

危険業務従事者叙勲で求名在住の菊野秋信さんが瑞宝双光章を受章しました。菊野さんは昭和42年に警視庁に入庁し、勤続40年のうち約25年間は主に大事件捜査に従事。その解決にあたるなど治安維持に尽力しました。平成18年の帰郷後は、さつま地区交通安全協会事務局長を6年間務め、交通事故防止に努めました。菊野さんは「皆さんの支えがあったおかげです」と話しました。



難事件に立ち向かってきた菊野さん



コミカルな演出に笑い声が上がりました

## 迫力満点の大型人形劇を鑑賞

11月26日に薩摩農村環境改善センター、11月30日に鶴田中央公民館で人形劇団京芸のかっぱ人形劇「とどろヶ淵のメッケ」の公演がありました。河童かんののメッケが命の水を取り戻す冒険に出る物語で、小学生約400人が鑑賞。鶴田小学校6年の植村耶音さんは「人形が生きているみたいで、ワクワクしながら観ました。声や動きが学習発表会の劇とは違って、プロの人はすごいと思いました。」と話しました。

## 県手をつなぐ育成会理事長表彰

11月11日、かごしま県民交流センターで県障害者保健福祉大会が行われ、津曲秋野さんが県手をつなぐ育成会理事長表彰を受賞しました。津曲さんは、町手をつなぐ育成会の役員を務め、長年、知的障がいがある方への理解促進に努めてきました。津曲さんは「自分の子が福祉関係者にお世話になり、恩返しと自己研鑽けんさんのために活動を続けてきました。これからも頑張りたいです」と話しました。



左から佐藤秀樹保健福祉課長、津曲さん、  
町手をつなぐ育成会の山内茂幸会長

## 柏原小が手漉き和紙を体験

12月10日、神子地区の鶴田手漉和紙工房で柏原小学校6年生24人が紙漉きを体験しました。卒業証書となる和紙を手作りする試みで、毎年、同工房が児童を招待。県の伝統的工芸品である鶴田和紙の歴史や製法を学び、<sup>すげた</sup>簀笥という器具を揺らし紙を漉きました。山之口葵さんは「初めてで貴重な体験でした。自分たちで作った卒業証書なので大切にしたいです」と話しました。



卒業証書になる和紙を自分たちで漉きました



永福さん

宮脇さん

**県茶業振興大会 本町から2人受賞**

11月28日、薩摩川内市国際交流センターで県茶業振興大会が行われ、永福喜作さんと宮脇一成さんが表彰されました。永福さんは、地域の茶業関係のリーダーとして貢献し、特別表彰を受賞。宮脇さんは、県茶業青年の会茶品質向上共進会で100点の茶の中から1位に輝き県知事賞を受賞しました。宮脇さんは「慢心せずに良いお茶を作れるよう技術を磨いていきたいです」と話しました。



大分県で行われた全国大会に仲間と全力で臨みました

## 前田さん 合唱コンクールで活躍

10月30日、全日本合唱コンクール全国大会において本町出身で高校3年の前田真美さんが所属する鹿児島高校音楽部が銀賞に輝きました。同校は、九州合唱コンクールで福岡県知事賞と金賞を受賞し、全国大会に出場。前田さんは「昨年、コロナで大会が中止となり悔しい経験もしました。音楽は人を笑顔にできる最高の手段。さつま町に音楽があふれることを願っています」と話しました。

## 長島町と湧水町のみどころ紹介！

さつま町、長島町、湧水町は「さつ・長・湧水連絡会議」で情報連携をしています。今回はその一環として、それぞれの町の魅力を各町の広報紙で紹介します。

長島町



### 冬の輝き「Flowers of HIKARI」

長島町のサンセットの丘では、イルミネーション「Flowers of HIKARI」を開催中です。約8万球のLEDライトが使われ、海や夕日をイメージした幻想的な空間や、赤や黄色に輝くチューリップなどの花畑を楽しめます。入場は無料で、毎週土曜日は特産品も販売。海に沈む夕日を眺めた後、イルミネーションで癒されてみませんか。



- ▶ 期間：2月12日まで（点灯は午後4～9時）
- ▶ 場所：サンセットの丘（長島町指江1553）

☎ 長島町役場 水産景観課 ☎ 0996-86-1137

湧水町



### 大迫力の「栗野岳八幡大地獄」

国立公園内にある栗野岳温泉には、白煙を噴き続ける「八幡大地獄」と呼ばれる九州一の噴気孔があり、春には桜、秋には紅葉、冬になると蒸気が木々に付着し、南国としては珍しい霧氷が見られます。昨年度は、写真映えする観光地としてかごしまフォトドライブアワードに選出。迫力満点の自然をお楽しみください。



- ▶ 場所：栗野岳八幡大地獄（湧水町木場6357）
- ※立入りが制限される場合があります

☎ 湧水町役場 産業振興課 ☎ 0995-74-3111

05.



ベトナム語のあいさつ

カム オン  
Cám ơn

ありがとう

加治木産業株式会社  
さつま工場

チュ ティ スオン  
Chu Thi Suong さん (21)



**明** るい笑顔が印象的なスオンさんは、ベトナムから日本に来て約1年。加治木産業株式会社さつま工場に勤め、製品の外観検査をしています。「日本の四季が好き」と話すスオンさんですが、新型コロナウイルスの影響でどこにも行けないと残念がります。日本のアニメを見て日本語を勉強しており、取材時は日本語能力試験を受けたばかり。同社で働く通訳のチャンさんをとこところ紹介しながらも、ハキハキと日本語でインタビューに答えました。「新型コロナウイルスが落ち着いたら富士山に登ってみたいです」と笑顔を見せました。

## まちのニュース

### 新たに商工業を営む人を応援

11月22日、商工業新規参入者支援補助金交付決定通知書の交付式が行われました。町が新規参入者に補助金を支給して支援するもので、今回交付を受けたのは美容業の熊田紗奈江さんと富園文香さん、運送業の多田健一さんの3人。交付式に参加した熊田さんは「地域とのつながりを大切に経営したい」、富園さんは「SNSを活用して集客に努めたい」と意気込みを話しました。



左から上野町長、熊田さん、富園さん

### 戦没者追悼式 平和を祈り献花

11月11日、鶴田中央公民館で町戦没者追悼式が行われました。町遺族会宮之城支部長の脇ミル子さんが追悼の言葉を述べ、町平和作文コンクール最優秀賞に輝いた鶴田小学校6年の栗野璃瑠さんが作文を朗読。戦争の怖さをなくしてほしいと伝えました。入賞者は次のとおりです。（敬称略）

▶ 最優秀賞 栗野璃瑠（鶴田小6年）▶ 優秀賞 下麦志英里（山崎小5年）、牟田園美花（佐志小5年）、右田壮甫（盈進小6年）、森田桜寧（盈進小6年）、宇都晃二郎（宮之城小3年）



曾祖母から聴いた戦争体験をつづった作文を朗読する栗野さん

### 高齢者クラブがタオルを寄贈

11月24日、町高齢者クラブ連合会が宮之城中学校にタオルを寄贈しました。毎年、同会が会員から集めた未使用のタオルの有効活用に向けて、町内の小中学校や福祉施設などに贈っているもの。今年は19施設に480枚を寄贈し、同校には80枚を贈りました。下大迫次男会長は「タンスに眠っていたタオルですが、必要に応じて自由に使っていただければうれしいです」と話しました。



下大迫会長（中央右）が野添誠校長（右）に手渡しました

### 自衛隊 災害に備え行進訓練

12月6日、国分自衛隊の行進訓練が行われました。同隊は本町の災害対応の担当で、約70人が危険区域などを確認しながら、鶴田ダムから北薩広域公園までの約20kmを行進。自衛隊家族会などが沿道で応援し、町と防衛施設誘致推進協議会が激励品を贈呈。平野公貴中隊長は「災害時に車両が使用できないことも想定し、住民の生命と財産を守る体制を強化したいです」と話しました。



あさひこども園やしびこども園の園児も隊員を応援しました